

ひのハートフルプロジェクト



ハートフルプロジェクト検討委員会
応募部門: データ可視化部門



heartful project

解決したい地域課題 1

● 日野市豊田駅周辺

- 以前は古い公団住宅(多摩平団地)が立ち並ぶ地域
- 住民の高齢化も顕著
- 平成20年に多摩平の森として団地の建て替えが終了
- 古い商店街は大型ショッピングセンター(イオンモール)にリニューアル
- 最近マンション等の開発で子育て層が急増！

● 豊田駅周辺は旧住民と新住民が混在するエリア

- 以前からの住民と新しい住民が混在しているがコミュニティは？
- 旧住民:高齢者、障がい者
- 新住民:子育て世代

解決したい地域課題 2

● 高齢者、障がい者、子育て世代が必要な情報が欲しい

- * バリアフリー情報
- * トイレの情報
- * 公園遊具
- * 授乳・おむつ交換スペース
- * 買い物や散歩で休める場所
- * 車いすやベビーカーが移動しやすい動線
- * 店舗のベビーカーの保管場所 など

● 世代間で必要な情報が共有できていない

- * 高齢者や既存住民が詳しい情報を新住民は知らない

● 必要な情報が可視化、共有化されていない

- * 欲しい情報を誰がどのように持っているか判らない

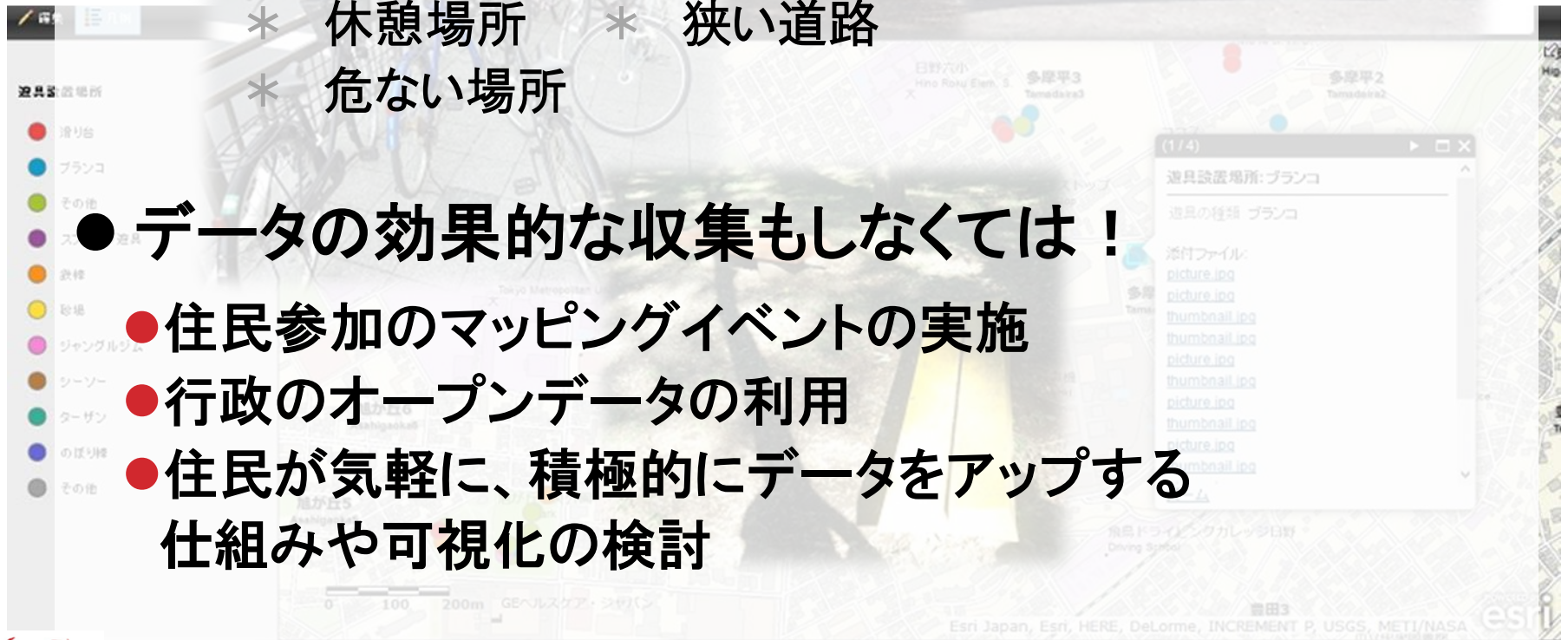
今回の目的と課題解決の方法

● 行きたい場所にどうやって行くの？

- 行きたい場所に安全、安心に行くための情報が欲しい
- 例えば・・・
 - * バリアフリー（傾斜、段差、手すり）
 - * 休憩場所
 - * 狭い道路
 - * 危ない場所

● データの効果的な収集もしなくては！

- 住民参加のマッピングイベントの実施
- 行政のオープンデータの利用
- 住民が気軽に、積極的にデータをアップする仕組みや可視化の検討



課題をふまえた今回の取組み

- 課題解決に必要なデータを収集
 - 既存のアプリ(G-motty)を活用
 - マッピングウォークで情報収集
 - * バリアフリー情報
 - * 公園施設(遊具)
 - * 問題箇所 他
- 課題解決の為のテーマを絞り込み
 - 多世代間で必要な地域情報の収集を検討
- 当日の様子

HINO のオープンデータとあなたのスマホで地図をつくらう！

Mapping Walk 2015

ひの マッピングウォーク

1日目 10月18日(日) 10:00 ~ 17:00
場所: 多摩平の森ふれあい館 集会室5
簡単なレクチャーと、スマホを使った街歩きとマッピング調査

2日目 11月1日(日) 13:00 ~ 17:00
場所: 多摩平の森 産業連携センターPlanT
地図データを活用したサービスの検討とチームで発表

マッピングウォークって何をするの??

スマートフォンやタブレットにフリーの地図ソフト(ArcGIS)をダウンロードして頂き、チームでテーマを決めて、まち歩きをしながら調査したデータをWebの地図上にその場でアップロード、みんなで作成したデータを共有し、また自治体等のオープンデータと組み合わせてどのような活用方法があるか、新たなサービスの提案ができるかを検討します。

1日目は複数人のチームに分かれてまち歩き、地図ソフトでデータを作り、共有します。

2日目は登録されたデータや日野市のオープンデータを用いて、どのような情報提供やアプリケーション・サービスの提供ができるのかを、グループでディスカッションをします。特設知識もありませんし、スマートフォンが無くても参加できます。個人でもグループでも、日野市在住でなくても構いませんので、是非ご参加ください!

【募集・参加について】

● 日野市情報システム課(josey@city.hino.lg.jp)へe-mailにて、件名に「ひのマッピングウォーク参加希望」として、次の事項をご連絡いただきますようお願いいたします。

① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号

● 定員30名とさせていただきます。(先着順)

※ イベントは2日間のプログラムになりますので、2日とも参加できるものに応募をお願いします。

● 一人でも、グループでも参加できます。(スマートフォンやタブレットが無くてもOK!)

● 参加費、ソフトのインストールは無料ですが、データ送信にかかる料金は参加者のご負担となります。

【お申込み・お問い合わせ先】

日野市 総務部/情報システム課 電話 042-585-1111 電子メール josey@city.hino.lg.jp

【主催】日野市、アーバンデータチャレンジ2015 共催イベント
【協力】ESRI ジャパン株式会社 



提案の有用性

- 住民目線で情報をきめ細かに収集できる
 - 高齢者や障がい者の目線で必要な情報を収集
 - 写真の視点も車いす目線で
- 利用者が自由に情報選択できる
 - その人なりに必要な情報は違う
 - 幅広い情報提供により選択の自由度を確保

- ✓ 設置されている休憩場所や歩道等の位置にピンドロップ
- ✓ その属性を選択及びコメントを入力
- ✓ 撮影した写真を添付



提案の有用性 2

● 行政への鮮度の高い情報のフィードバック

● 利用者の投稿による情報のフィードバック

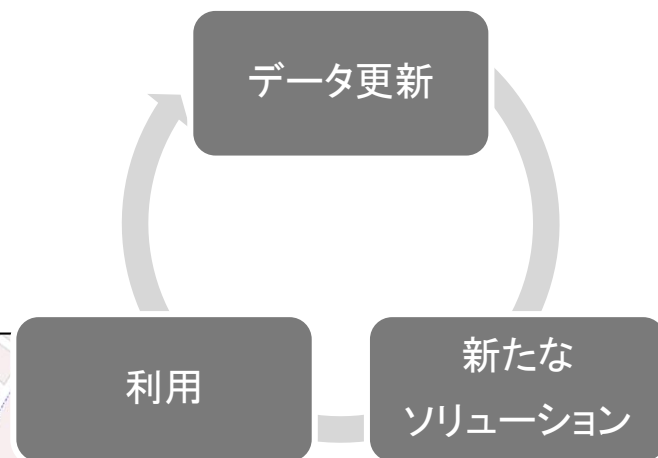
＊ 道路、施設の工事状況など

● 行政にとってのメリット！

＊ 事故や工事情報の把握

＊ 市民ニーズの把握が可能

＊ 市民がやって欲しいことを事業化



今回収集データと公開している標高データを合わせることで、目的地までの段差等だけでなく、高低差も確認でき、より車いすやベビーカーの利用者に有益な情報となる。

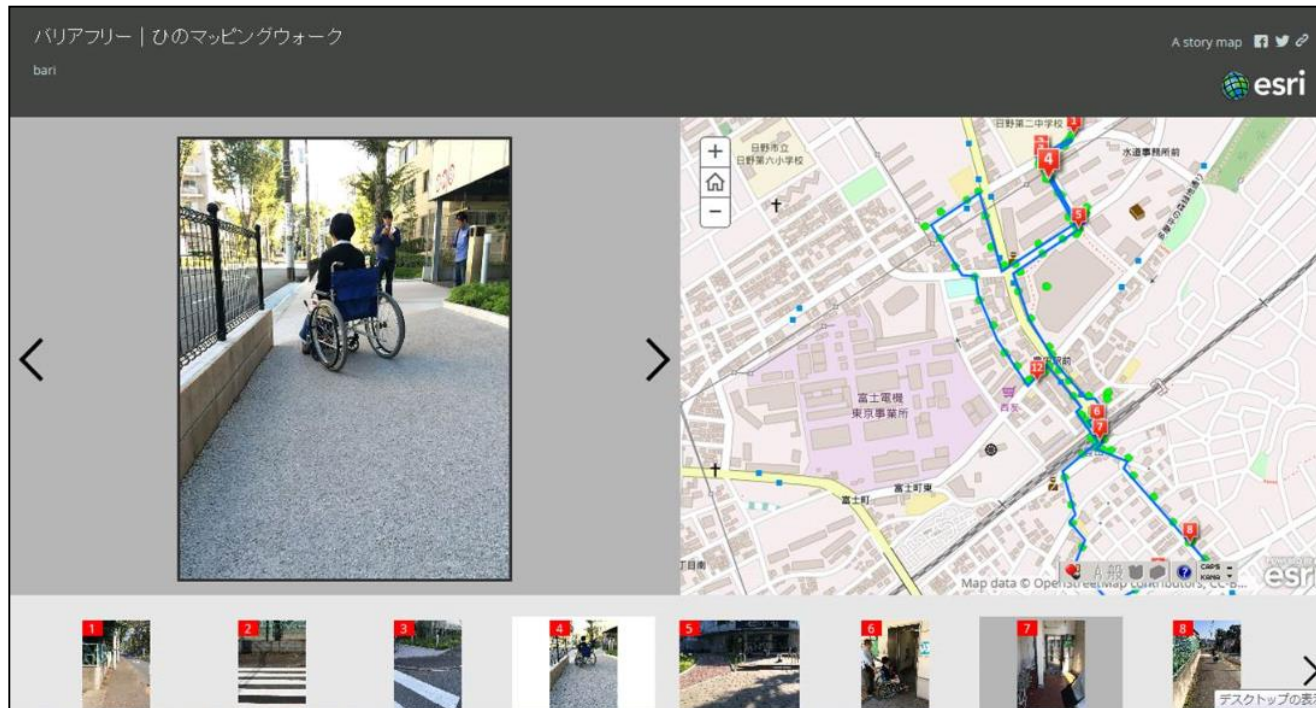
<http://arcg.is/1W2ncJJ>

提案の新規性

● 場所とルート of 情報を連携する

● 動線情報の提供

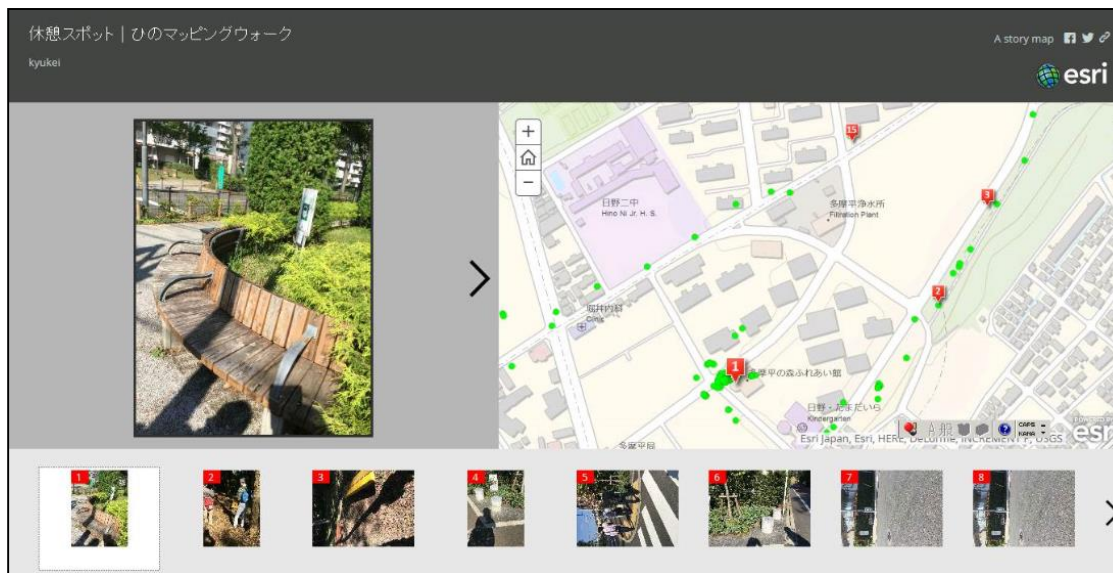
* そこにどうやって行くことができるかがわかる



<http://arcg.is/1SW5tUL>

提案の新規性 2

- 多世代、多分野のデータを収集できる
 - 高齢者から若い子育て世代までをカバー
 - 福祉やまちづくりなど分野を横断する情報提供
- 多世代の連携による情報更新
 - 若い世代とシニア世代の交流により情報更新する



<http://arcg.is/1Pj9aO8>

それでは・・・ここで

今回の本提案の成果をご覧ください！


- ①行きたい場所へ車いすやベビーカーを利用する想定で収集したバリアフリー情報 (<http://arcg.is/1SW5tUL>)
 - ②行きたい場所へ移動中に休憩できる箇所を探し収集した情報 (<http://arcg.is/1Pj9aO8>)
 - ③今回収集した経路に公開されている標高の情報を活用した事例 (<http://arcg.is/1W2ncJJ>)
- ◆まち歩きでの情報収集状況 (<http://arcg.is/1GIMzTk>)

実現可能性

● 維持更新できる仕組みづくり

- 日野市の持つ地図プラットフォーム
(ArcGIS Online、G-motty)を活用
- SNS(Twitterなど)との連携が可能
- シニア世代から子育て世代まで幅広い利用者層による
情報更新

● 維持更新の課題

- 情報提供するメリットの醸成
 - SNSとの連携などに更新のモチベーションがあがる仕組み
 - イイね!
 があると嬉しい！